



【先週 7月17日～7月23日の外食の出来事】

■出前館、今期最終赤字が拡大 367億円、配達員報酬が重荷

連結最終損益は367億円の赤字で、配達員報酬やシステム開発費用がかさむことで4期連続の最終赤字になる見通し。広告宣伝費などを抑制しこれまで500億～550億円の赤字としていた営業損益の見通しは上方修正した。

■パスタ店「コパン」運営会社、自己破産申請

パスタ料理店「生パスタ専門店コパン」などを東北や関東で展開する飲食店経営のダックスが、仙台地裁に自己破産を申請し、破産開始決定を受けた。事業は18日に停止した。負債額は約7億円とみられる。

■HUB、第1四半期(2022年3月～5月)の業績

2023年2月期 第1四半期(2022年3月～5月)の業績を発表。売上高15億2300万円(対前年同期比397.6%増)、営業損失2億6600万円(-)、経常損失2億7400万円(-)、四半期純損失300万円(-)であった。

■クリエイト・レストランズHD、第1四半期(2022年3月～5月)の連結業績

2023年2月期 第1四半期の連結業績は営業収益262億4300万円(対前年同期比47.9%増)、税引前利益51億3000万円(同251.2%増)、四半期利益38億7300万円(同262.6%増)と増収増益を確保した。

■すかいらーく、平均5%値上げ 地域別2価格制を導入

すかいらーくホールディングスが、7月より、ガスト、バーミヤン、しゃぶ葉、ジョナサン、ステーキガストにてメニューの約5割を平均で約5%値上げすると発表した。地域ごとに異なるマーケット状況を鑑み、地域別価格を導入する。

■ブロンコビリー、営業黒字に転換3億円 22年1～6月期

2022年1～6月期の単独決算は営業損益が3億4800万円の黒字(前年同期は3億4300万円の赤字)に転換した。新型コロナウイルス禍に伴う行動制限や営業時間の短縮要請の影響が小さくなり客足が回復した。

■大庄、第3四半期(2021年9月～2022年5月)の連結業績

2022年8月期 第3四半期の連結業績は売上高261億9000万円(対前年同期比11.1%増)、営業損失43億2200万円(-)、経常利益6億5800万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億9000万円(-)であった。

■サイゼリヤ、第3四半期(2021年9月～2022年5月)の連結業績

2022年8月期 第3四半期の連結業績は売上高1073億4600万円(対前年同期比12.6%増)、営業利益10億6100万円(-)、経常利益100億800万円(同285.8%増)、四半期純利益65億7600万円と増収増益を確保した。

■フジオフード、是正勧告 着替え時間は労働時間

「まいどおきに食堂」などを運営する株式会社フジオフードシステムが、従業員が制服に着替える時間に賃金を支払っていなかったとして、労働基準監督署から是正勧告を受けていた。